

2020年1月17日

富山技術センター内に免疫抑制剤プログラフ®の 新たな原薬製造施設を建設

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、生産子会社であるアステラス ファーマ テック株式会社の富山技術センター内に、プログラフ®(一般名:タクロリムス水和物)*の新たな原薬製造施設として「第3発酵棟(仮称)」を建設します。

プログラフ®は、アステラス製薬が創製し、約100の国と地域において販売されている免疫抑制剤です。臓器移植後の拒絶反応を抑制するための第一選択薬として世界の移植医療に大きく貢献しており、2019年3月期のグローバル売上は1,957億円でした。

富山技術センターは、現在、プログラフ®の国内外向け原薬製造および製剤・包装を担っています。このたびの第3発酵棟の建設は、プログラフ®の今後の安定的な需要見込みおよび既存製造施設の状況等を踏まえ、これまでのノウハウをベースとした最新鋭の製造施設を富山技術センター内に建設することにより、高品質の製品を今後も安定的に供給できる、より強固な生産体制を構築することを目的に行うものです。

総工費は約100億円で、地上3階建て、延床面積約7,220m²、2020年4月に着工し、2021年8月の完成を予定しています。

なお、本件による当期(2020年3月期)連結業績予想への影響はありません。

以上

*: プログラフ®のほか「アドバグラフ™/グラセプター®/アスタグラフ™」の製品名でも販売されています。

完成予想図(CG合成)



アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473